

平成29年度 大楠高等学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	公務員・社会人としての自覚について、基本に立ち返った行動の徹底を図る。勤務時間外の行動においても公務員の自覚を常に持ち、信用失墜行為を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発資料等を活用して、職員会議で事故防止の意識啓発を年間で11回行った。</li> <li>・教育公務員の不祥事に関する新聞記事等を取り上げ、朝の打ち合わせや職員会議にて公務外非行防止の意識啓発を行った。</li> </ul>
わいせつ、セクハラ行為の防止	人権感覚を磨き、セクシュアルハラスメント等を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師による所属職員全員を対象とした職場研修を7月に実施した。</li> <li>・携帯電話、電子メール、SNS等コミュニケーション手段のルールに基づく適正な利用や、教科準備室等の適切な利用を徹底した。</li> <li>・生徒のセクハラに対する意識啓発を図り、相談体制をポスター等で周知した。</li> </ul>
体罰、不適切な指導の防止	「体罰防止ガイドライン」に基づき、生徒指導における体罰、不適切指導を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不適切指導防止の意識啓発を行い、体罰によらない指導の徹底を図った。</li> <li>・部活動においては顧問等による相互チェックの体制を整備した。</li> </ul>
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止	入学者選抜、定期テスト、成績処理に関する事故及び生徒指導要録作成、調査書発行に関する事故を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルや点検体制を整備し、適切に機能するよう確認した。</li> <li>・各学期末（7月、12月及び3月）に成績処理一斉点検を実施した。</li> </ul>
個人情報の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の紛失や流出、誤廃棄などの事故を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務手帳の一元管理を行うとともに、生徒情報記載資料等、個人情報の管理を徹底した。</li> <li>・個人情報の収集、登録、管理、廃棄を適切に行った。</li> </ul>
会計事務等の適正執行	会計業務の不適切な処理を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月当初の職員会議において所属職員全員対象の研修会を実施し、適正な会計事務の流れを周知した。</li> <li>・県費、私費会計基準を遵守した私費会計事務処理の徹底を図った。</li> <li>・9月に備品の現物照合を行った。</li> </ul>
業務執行体制（情報の共有、相互チェック体制、業務協力体制）	教職員間のコミュニケーションを密にし、事故・不祥事につながる可能性のある事象について、お互いに問題点を指摘し合える職場環境づくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書類作成等では点検マニュアルにより複数で確認した。</li> <li>・事故・不祥事につながる可能性がある事象が発生した場合には、速やかに管理職に報告し、適正な対応を図った。</li> </ul>

○平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

職員自らが主体的に事故防止に関わることが重要であることから、成績処理、私費会計処理、入学者選抜業務の事故防止についても、不祥事ゼロプログラムに沿って、各担当者を中心とした協力体制を機能させ、不祥事の未然防止に努めた。今後も一層の事故防止体制の定着に努めたい。また、日常的に職員の意識を高めるための取組を通して、事故・不祥事を根絶するような体制を構築していく。